

社会資本総合整備計画 事後評価
～利用しやすく安全で憩いとうるおいのある港づくり(防災・安全)～



川崎市港湾局
令和元年11月22日

目 次

1. 川崎港の概要	…… p3-p6
2. 社会資本総合整備計画の概要	…… p7-p8
3. 要素事業の進捗状況	…… p9
4. 事業の効果(目標達成状況・指標以外の効果)	…… p10-18
5. 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況	…… p19-20
6. 今後の方針等	…… p21

1. 川崎港の概要

川崎臨海部の状況



1. 川崎港の概要

川崎港の取扱貨物

港湾取扱貨物量ランキング(2017年)

順位	港名称	合計	輸出	輸入	内貨
1	名古屋港	195,968	52,658	75,225	68,085
2	千葉港	153,291	8,266	84,264	60,761
3	横浜港	113,500	31,682	42,521	39,397
4	苫小牧港	109,367	1,211	17,722	90,433
5	北九州港	101,500	7,385	25,051	69,064
6	神戸港	99,861	24,069	28,648	47,143
7	東京港	90,780	13,509	36,808	40,664
8	水島港	87,621	10,405	46,941	30,276
9	川崎港	84,975	8,639	47,273	29,063
10	大阪港	84,803	9,687	25,255	49,761
11	堺泉北港	72,112	4,493	23,247	44,371
12	四日市港	59,011	3,806	35,365	19,841
13	徳山下松港	50,023	3,343	16,004	30,677
14	仙台塩釜港	46,706	2,212	12,786	31,708
15	和歌山下津港	36,415	4,696	16,983	14,735
16	姫路港	34,580	816	20,367	13,397
17	博多港	33,240	7,658	11,137	14,445
18	新潟港	31,166	1,089	13,945	16,132
19	室蘭港	23,678	1,620	10,352	11,706
20	清水港	16,150	4,251	6,489	5,410

出典: 川崎港統計年報(2017年)



川崎港の取扱貨物量
(2017年)は全国 **第9位**

貿易額(2017年分)

輸出額 1兆1,198億27百万円
輸入額 2兆2,248億18百万円

出典: 川崎税関支署「川崎港貿易概況」

取扱貨物の種類



出典: 川崎港統計年報(2017年)

出入貨物の割合



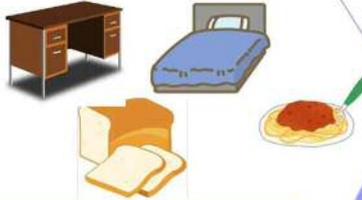
出典: 川崎港統計年報(2017年)

1. 川崎港の概要

市民生活に身近な川崎港

取扱貨物の種類

家具や雑貨、小麦、冷凍食品など日常生活に身近な商品



川崎港の冷凍冷蔵倉庫群の設備能力は約100万トン
首都圏(1都7県)4,400万人の食を支えています

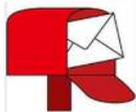
出典: 神奈川県冷蔵倉庫協会HP
総務省統計局HP

川崎臨海部の発電能力は約758万kW
一般家庭の消費電力は首都圏で約769万kW

出典: 川崎市臨海部国際戦略本部 (2018年7月現在)

・川崎臨海部の工場で1日に生産される小麦粉は約1,500トン
※全てを食パンにすると600万斤
うどんでは1,800万食

・海外との間で輸出入されている船便の国際郵便物及び小包は全て川崎港を経由



出典: 川崎港統計年報(2017年)

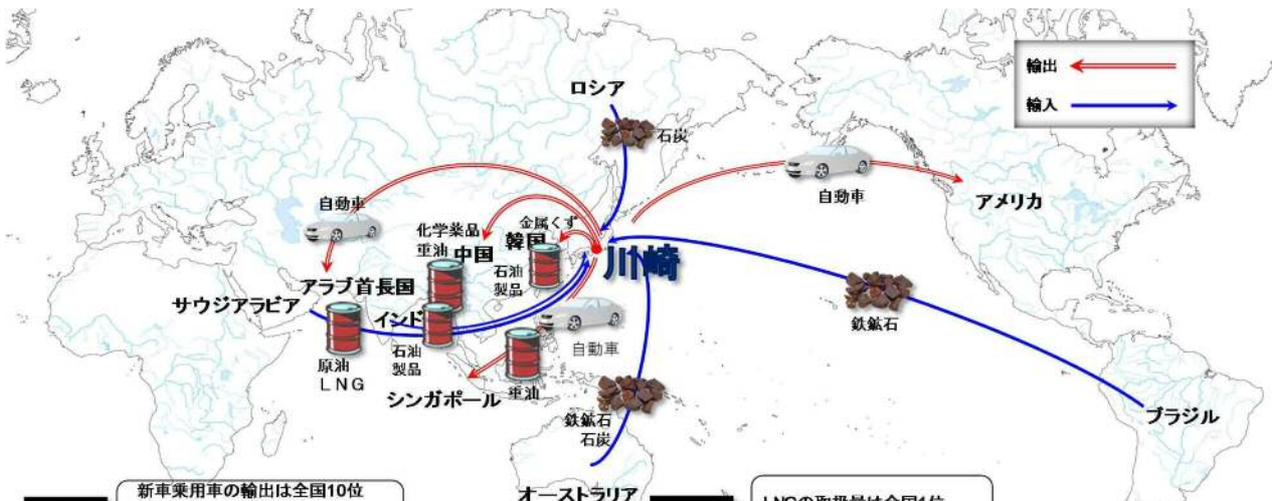
多くの電力を供給し、ガソリンや灯油など様々な燃料として利用



建築、自動車、家電など日常生活に利用される鋼板

1. 川崎港の概要

川崎港と世界の結びつき



輸出 新車乗用車の輸出は全国10位
中古乗用車の輸出は全国5位
(出展: 貿易統計より)

品名	平成29年		主な輸出先		
	数量(千トン)	構成比(%)	1	2	3
完成自動車	2,657	30.8	アメリカ (57.0%)	アラブ首長国 (9.3%)	シンガポール (8.8%)
石油製品	1,531	17.7	韓国 (27.8%)	中国 (13.7%)	アメリカ (12.3%)
化学薬品	1,411	16.3	中国 (72.1%)	韓国 (12.0%)	台湾 (10.2%)
金属くず	1,009	11.7	韓国 (51.1%)	中国 (20.9%)	ベトナム (20.8%)
車	945	10.9	中国 (32.8%)	シンガポール (31.4%)	香港 (23.3%)
その他	1,087	12.6	-	-	-
総合計	8,639	100.0	-	-	-

輸入 LNGの取扱量は全国1位
(出展: 貿易統計より)

品名	平成29年		主な輸入先		
	数量(千トン)	構成比(%)	1	2	3
L N G	15,425	32.6	アラブ首長国 (27.9%)	オーストラリア (16.7%)	バハマニューギニア (16.2%)
原油	12,967	27.4	サウジアラビア (46.0%)	中国 (15.3%)	アラブ首長国 (12.6%)
石炭	5,845	12.4	オーストラリア (71.9%)	インドネシア (10.0%)	ロシア (9.7%)
鉄鉱石	5,833	12.3	オーストラリア (64.0%)	ブラジル (21.5%)	インド (6.1%)
石油製品	2,075	4.4	インド (37.9%)	韓国 (31.4%)	アラブ首長国 (5.8%)
その他	5,128	10.8	-	-	-
総合計	47,273	100.0	-	-	-

出典: 川崎港統計年報(2017年)

2. 社会資本総合整備計画の概要

◆背景

国民生活と産業活動を支える重要な物流・生産基盤である港湾施設と、高潮、津波等の災害から人命・財産を防護する海岸保全施設は重要な社会資本です。川崎港では、物流機能の強化および高度経済成長期以降整備した老朽化した施設への対応、大規模地震時等の災害対策の推進に早急に取り組む必要があることから、「物流機能の強化及び防災・減災機能の強化を図るため」、社会資本総合整備計画(防災・安全)を策定しました。

◆計画の名称、目標、計画期間等

	内 容	
計画の名称	利用しやすく安全で憩いとうるおいのある港づくり(防災・安全)	
計画の目標	物流機能の強化・安全性の向上及び防災・減災機能の強化を図るため、以下のことを実施する。 ①既存の係留施設、外郭施設及び臨港交通施設等の改良等を行い、施設の延命化、利用者の利便性及び安全性の向上を図る。 ②大規模地震時において、市内陸部への緊急物資等輸送機能を確保するために、関連施設の改良を行い、耐震性の向上を図る。 ③津波・高潮時において、市民の生命と財産を守るために、海岸保全施設の改良工事の実施率を高める。 ④東扇島地区の岸壁を改良し、通常時ならびに災害時における物流機能の強化を図るため、岸壁の改良工事実施率を高める。 ⑤港湾施設の長寿命化に向けた維持管理計画の策定率を高める。 ⑥海岸保全施設の長寿命化に向けた維持管理計画の策定率を高める。	
計画期間	平成27年度～令和元年度(5年間)	
全体事業費	計画：9,366百万円(評価時)	
評価指標	①-1臨港道路の改良	臨港道路の現道の改良工事の達成率(%)
	①-2係留施設、外郭施設及び臨港交通施設における、施設使用制限及び休止率0%の維持	施設の休止率等(%)
	②緊急物資等輸送路の改良	段差抑制改良工事の達成率(%)
	③海岸保全施設の改良	海岸保全施設の改良工事の達成率(%)
	④岸壁改良(東扇島KC3)	改良工事の実施率(%)
	⑤維持管理計画策定(臨港道路)	維持管理計画策定率(%)
	⑥維持管理計画策定(海岸保全施設)	維持管理計画策定率(%)

7

2. 社会資本総合整備計画の概要

◆位置図



8

3. 要素事業の進捗状況

◆要素事業

・基幹事業 16事業

海底トンネルの改良、臨港道路の改良、海岸保全施設の改良、長寿命化計画策定等

・効果促進事業 1事業

油流出防止施設の整備

※このうち、完成した事業は、7事業(基幹事業6事業、効果促進事業1事業)

◆進捗状況

事業の区分	計画事業費 当初(千円)	計画事業費 評価時(千円)	執行額 評価時(千円)	進捗率 (%)
基幹事業	10,053,000	9,323,000	3,083,651	33.1
効果促進事業	137,000	43,000	42,416	98.6
全体事業費	10,190,000	9,366,000	3,126,067 【財源内訳】 国:1,325,383 市:1,800,684	33.4

9

4. 事業の効果【指標①-1の達成状況】 1 臨港道路の改良

◆概要

川崎港における物流機能及び防災機能の強化のため、池上町および東扇島において既存の臨港道路の改良を行い、物流の効率化や交通渋滞の緩和、発災時の緊急物資輸送ルート多重化を図る。(事業予定期間:平成23年度～令和5年度)

◆目標達成状況

評価指標:改良工事の達成率 目標値:100%

評価:未達成

平成27年度
7%
改良延長290(m)



令和元年度(見込み)
28.1%
改良延長1,150(m)/全体延長4,090(m)

◆目標達成状況に対する所見・将来の見込み

本事業は、関連事業や関係者調整等により、目標の達成に至りませんでした。

今後も引き続き、関係者と調整を図りながら、改良工事を推進していきます。

今回の計画対象地区(引き続き次回の計画へ)



10

4. 事業の効果【指標①-2の達成状況】 2 既存外郭施設・係留施設等の延命化および千鳥町地区のふ頭内道路の改良

◆目標達成状況

評価指標：施設使用制限及び休止率 目標値：0.0% 評価：達成(見込み)

平成27年度
0%

令和元年度(見込み)
0%

◆指標以外の効果

計画期間内における老朽化に起因する海底トンネルや係留施設における事故発件数ゼロ(見込み)

◆概要(海底トンネルの改良)

本事業は、トンネル機能の維持を目的に、トンネル本体や換気所等の躯体や設備の老朽化対策、耐震対策等を行うものです。
(事業予定期間：平成14年度～令和4年度)



海底トンネル入口(車道)

◆実施状況

人道せん断補強・情報板・排水設備の更新等
進捗率58.6%(執行額859/事業費1,465百万円)

◆今後

今後もトンネル機能の維持及び施設の延命化対策等に向け、改良工事を推進していきます。
なお、今年度から本事業は、事業区分が変更になりました。
(交付金事業⇒補助事業)



地盤改良



人道せん断補強



排水設備改修



情報板更新

4. 事業の効果【指標①-2の達成状況】 2 既存外郭施設・係留施設等の延命化および千鳥町地区のふ頭内道路の改良

◆概要(埠頭内道路の改良(千鳥町地区))

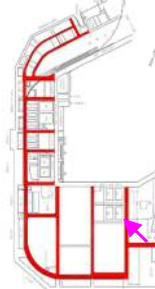
本事業は、ひび割れの発生など老朽化が進む千鳥町地区の道路について、維持管理等を考慮し、既設コンクリート舗装をアスファルト舗装へ改良するものです。
(事業予定期間：平成25年度～令和元年度)

◆実施状況(見込み)

進捗率11.2%(執行額171/事業費1,531百万円)
改良工事終了延長1,309(m)/全体延長5,633(m)

◆今後

引き続き、施設の延命化等の対策に向けて、改良工事を推進していきます。



千鳥町道路改良写真

◆概要(外郭施設・係留施設等の延命化)

本事業は、東扇島及び千鳥町地区における岸壁等において、防食機能の更新や附帯施設の取替えにより、既存施設の長寿命化を図るものです。

◆実施状況(見込み)

被覆防食工・電気防食工の実施
進捗率55.9%(執行額774/事業費1,385百万円)

◆今後

劣化状況等を考慮して優先順位をつけて、既存施設の延命化に向けた改良工事(防食等)を実施することができました。今後も引き続き、関係者と調整を図りながら、改良工事を推進し、既存施設の延命化を図っていきます。



実施前



実施後(被覆防食) 実施後(電気防食)

4. 事業の効果【指標①-2の達成状況】 2 既存外郭施設・係留施設等の延命化および千鳥町地区のふ頭内道路の改良

◆概要(川崎港港湾保安システム維持補修) ※川崎港コンテナターミナル・東扇島外貿岸壁・千鳥町1号～7号岸壁に整備

本事業は、「国際航海船舶及び国際港湾施設保安の確保等に関する法律」に基づき整備されている港湾保安システムの定期改修を行い、機能確保するものです。
(事業予定期間:平成27年度～令和元年度)

◆実施状況:(完了見込み)
監視設備・モニター設備・センサー設備等の更新を行い、完了予定。



赤外線センサー

スピーカー

振動センサー

◆概要(建築物撤去)

本事業は、千鳥町にある老朽化した共同事務所等を、港湾の荷役効率の向上や物流機能の強化に資するため、跡地を有効活用できるように撤去した。

◆実施状況:完了



共同事務所(撤去前)



共同事務所(撤去後)

◆概要(油流出防止施設の整備(千鳥町地区))

降雨時において、千鳥町の主要貨物の一つである循環資源貨物(スクラップ・金属くず)に付着した油分が下水管から海へ流出するのを防ぐため、油流出防止施設を整備するものです。

◆実施状況:完了(2箇所設置)

13

4. 事業の効果【指標②の達成状況】 3 緊急物資等輸送路の改良

◆概要

本事業は、災害時における緊急支援物資の輸送路を確保するため、地盤の液状化による埋設物付近に発生する段差の抑制対策を行うものです。(事業予定期間:平成26～30年度)

◆目標達成状況

評価指標:改良工事の達成率 目標値:100% 評価:達成

平成27年度
0%

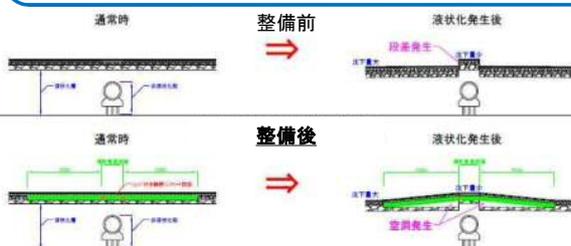


令和元年度
100%

改良工事終了箇所数:5箇所/5箇所

◆目標達成状況に対する所見・将来の見込み

緊急物資輸送路において、地盤の液状化により埋設物付近に発生する段差を抑制する対策が完了しました。



14

4. 事業の効果【指標③の達成状況】 4 海岸保全施設の改良

◆概要

本事業は、海岸保全施設の陸間について、高潮・津波による内陸部の被害をおさえるため、閉鎖時間や労力の短縮等を目的に、従来の角落し式から引戸式等へ改良するものです。
(事業予定期間:平成24～令和5年度)

◆目標達成状況

評価指標:改良工事の達成率 目標値:100% 評価:未達成

平成27年度
16.6%

改良終了施設6施設



令和元年度(見込み)

47.2%

改良終了施設17(施設)/36(施設)=47.2(%)

【陸間の改良イメージ】

【整備前】:角落し式



【整備後】:引戸式



【整備後】:スイング式



◆目標達成状況に対する所見・将来の見込み

当該施設に隣接する地権者との調整等に不測の時間を要したことから、目標の達成に至りませんでした。調整が整った施設から順次、改良工事を実施することができました。今後も引き続き、改良工事を推進し、高潮・津波被害の防止を図っていきます。

◆指標以外の効果

- ・閉鎖作業員の安全性確保
- ・計画期間中における海岸保全施設からの浸水発生件数ゼロ

15

4. 事業の効果【指標④の達成状況】 5 通常時ならびに災害時における物流機能の強化

◆概要

本事業は、通常時及び災害時における物流機能の強化を図るため、既設の川崎港コンテナターミナルの隣に港湾計画上位置づけされている東扇島-9m岸壁改良を行うものです。
(事業予定期間:平成27～令和元年度)

◆目標達成状況

評価指標:改良工事の達成率 目標値:100% 評価:未達成

平成27年度
0%



令和元年度

0%

◆目標達成状況に対する所見・将来の見込み

限られた厳しい予算状況において、計画内の他の重要な事業への予算配分の結果、目標の達成には至りませんでした。今後は、関係者調整や予算調整等を図りながら、適切な時期に、改良工事を推進していきます。



東扇島(-9m岸壁)

16

4. 事業の効果【指標⑤⑥の達成状況】 6 維持管理計画策定

◆概要

本事業は、既存施設（臨港道路および海岸保全施設）について、計画的かつ適切な維持管理を行うため、維持管理計画書を策定するものです。

計画策定にあたり現状を把握するため、各施設の点検調査・診断を行い、今後の維持管理に関して、その結果を基に、施設毎にとりまとめを行い、維持管理計画書とするものです。

（事業期間：平成28～30年度）

◆目標達成状況

評価指標：策定率 目標値：100% 評価：達成
平成27年度 0% → 令和元年度 100%

◆目標達成状況に対する所見・将来の見込み

臨港道路および海岸保全施設について、点検診断の実施及び維持管理計画の策定をしたことから、目標を達成することができました。
今後は、当該維持管理計画に基づき、施設の延命化に向けて、適切に維持管理を実施していきます。

長寿命化計画策定 位置図



点検調査状況【臨港道路】



点検調査状況【海岸保全施設】



4. 事業の効果【目標の達成状況】 まとめ

◆計画の成果目標及び達成状況

定量的指標	当初 (H27)	中間 (H29)	最終 (H31)	達成状況	整備による効果(指標以外)
【①-1 臨港道路の改良】 臨港道路の現道の改良工事の達成率=(改良工事終了延長/全体延長)*100 =290(m)/4,090(m) → 1,150(m)/4,090(m)=7(%) → 28.1(%)	目標 7.0%	60.0%	100.0%	未達成	-
	実績 7.0%	19.9%	28.1%		
【①-2 係留施設、外郭施設及び臨港交通施設における、施設使用制限及び休止率0%の維持をする。】 休止率等=(使用制限及び休止施設数/全体施設数)*100	目標 0.0%	0.0%	0.0%	達成	計画期間中における老朽化に起因する事故発生件数ゼロ
	実績 0.0%	0.0%	0.0%		
【② 緊急物資等輸送路の改良】 段差抑制改良工事の達成率=(改良工事終了箇所数/全体箇所数)*100 =0(箇所)/5(箇所) → 5(箇所)/5(箇所)=0(%) → 100.0(%)	目標 0.0%	100.0%	100.0%	達成	-
	実績 0.0%	80.0%	100.0%		
【③ 海岸保全施設の改良】 海岸保全施設の改良工事の達成率=(改良工事終了施設数/改良対象施設数)*100 =当初:6(施設)/36(施設) → 17(施設)/36(施設)=16.6(%) → 47.2(%)	目標 16.6%	60.0%	100.0%	未達成	閉鎖作業員の安全性確保 老朽化に起因する浸水ゼロ
	実績 16.6%	30.6%	47.2%		
【④ 岸壁改良(東扇島KC3)】 改良工事の実施率=(改良工事完了延長/改良工事全体延長)*100	目標 0.0%	50.0%	100.0%	未達成	-
	実績 0.0%	0.0%	0.0%		
【⑤ 維持管理計画策定(臨港道路)】 維持管理計画策定率=(策定施設数/策定対象施設数)*100 =0(施設)/58(施設) → 58(施設)/58(施設)=0(%) → 100.0(%)	目標 0.0%	100.0%	-	達成	-
	実績 0.0%	100.0%	-		
【⑥ 維持管理計画策定(海岸保全施設)】 維持管理計画策定率=(策定施設数/策定対象施設数)*100 =0(地区)/5(地区) → 5(地区)/5(地区)=0(%) → 100.0(%)	目標 -	50.0%	100.0%	達成	-
	実績 -	80.0%	100.0%		

5. 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況

-アンケート調査の実施-

◆意見募集、調査の内容、手法、実施期間

- 意見募集: 市民全体にアンケート調査を実施
- 調査内容: 目標に定めた項目に対する評価等について、アンケート調査を実施
- 公開場所: 市政だよりへの掲載、各区役所、情報プラザ、ホームページ、川崎港管理センター(川崎マリエン)・港湾局(川崎駅前タワーリバーク)
- 手 法: 目標指標の評価において択一式、自由
- 提出方法: 担当課へのアンケートの持参、郵送、FAX、メール送付
- 実施期間: 令和元年8月21日(水)～9月20日(金)

◆結果概要

各事業の評価及び意見等について、5件寄せられ、主な結果は以下のとおりでした。

- ・各指標の評価については、“評価できる”の回答を多数頂きました。
- ・目標、整備方針を実現し、魅力ある地域実現に期待しています。
- ・老朽化が進み、改修が必要な場所は計画的に実施して下さい。また、インフラ整備は地域発展の要となりますので、積極的に投資をお願い致します。
- ・防災、安全の観点から、港湾・海岸施設は非常に重要な役割を担っていますので、次年度も引き続き事業の推進をお願いします。
- ・過去に関東でも津波が来襲した事を踏まえ、川崎港の津波高も見直すべきです。地盤の嵩上げ等実施してはどうでしょうか。

19

5. 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況

-ヒアリング調査の実施-

◆意見募集、調査の内容、手法、実施期間

- 調査対象: 社会資本総合整備交付金対象事業の実施に係る事業者を対象にヒアリング調査を実施(関係企業・団体 3者)
- 調査内容: 目標に定めた項目に対する評価等について、ヒアリング調査を実施
- 実施期間: 令和元年8月21日(水)～9月20日(金)(アンケート実施期間中に実施)

◆結果概要

各事業の評価及び意見等について、ヒアリングの主な結果は以下のとおりでした。

- －計画に対する進捗について、実施状況等の伝え方に課題がある。
(実際に個々の事業がどのくらい進んでいるのかがわかりづらい。)
- －全体の進捗率として6割程度は超えるよう努めてほしい。
- －計画で実施している箇所以外にも老朽化している箇所が見受けられることから、補修等を実施して欲しい。

20

6. 今後の方針等

◆総合的な所見

- 交付金事業の成果としましては、当初計画で予定していた事業費よりも、国からの配算額の減もあり、執行額は大きく減少した。このため、計画内で優先順位を付けて、事業を推進することで、目標の一部を達成することができました。
- 港湾施設については、臨港道路の改良および緊急物資輸送路の改良により、物流機能・防災機能の強化、また、係留施設・臨港交通施設等の長寿命化に向けた取組の実施により、経済活動の持続性を確保することができました。
- 海岸保全施設については、陸閘改良等を行い、閉鎖作業員の安全性が向上しました。

◆今後の方針

- 川崎港における物流機能及び防災・減災機能の維持・強化を図るため、引き続き臨港道路の改良等を推進していきます。(物流・防災機能の強化)
- 海岸保全施設の改良等、大規模地震や高潮・津波への対策を推進していきます。(防災・減災対策)
- 長寿命化計画等に基づき、予防保全的に対応するため、計画的かつ効率的に施設の改良を実施していきます。(老朽化対策)

21



ご清聴ありがとうございました。

22